



國庫金業務狀況

貯金局編

昭和七年二月調

昭和七年二月調

國庫金業務狀況

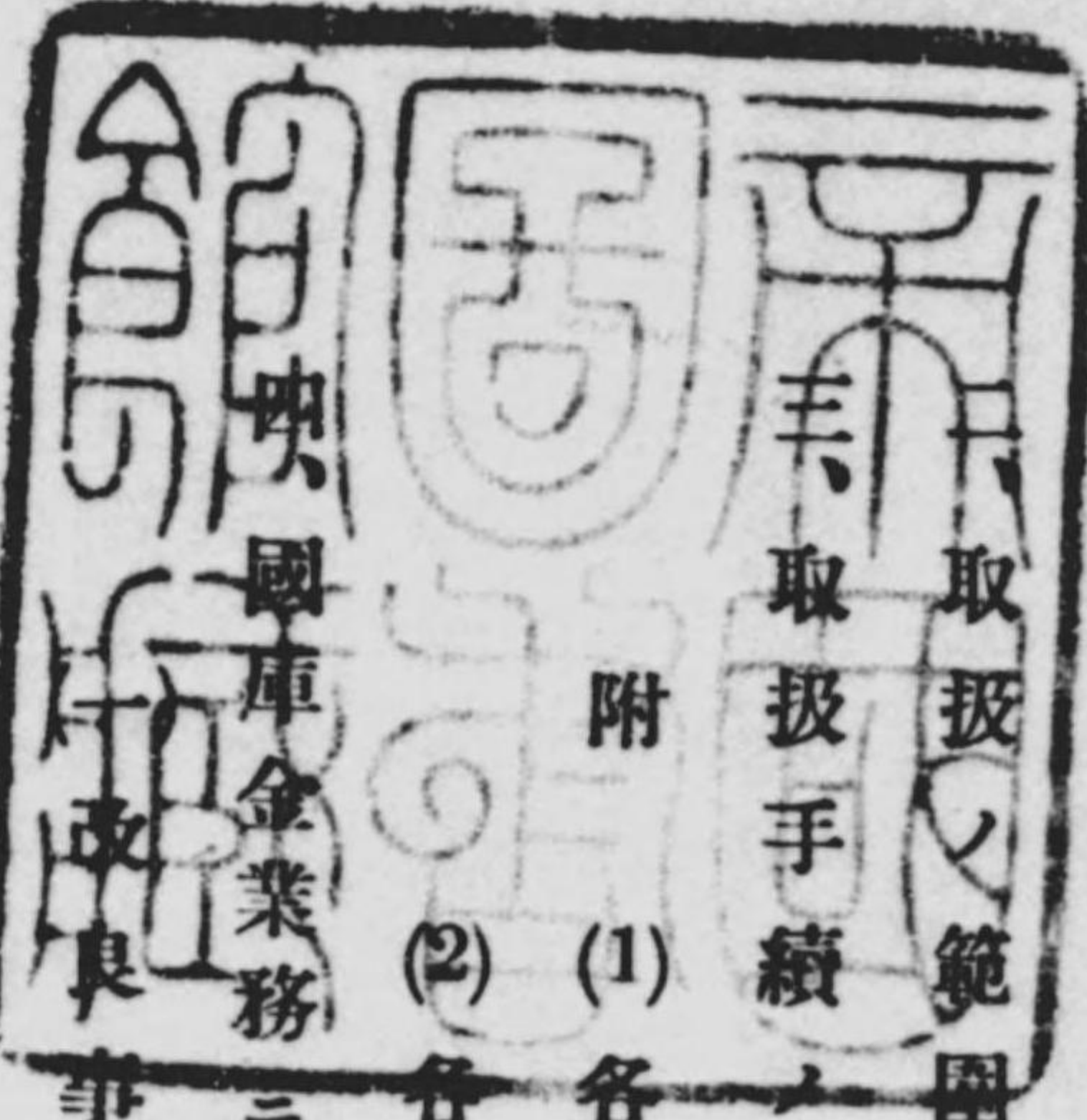
貯金局

579-88

國庫金業務狀況

目次

一、沿革.....	一頁
取扱ノ範圍	五
取扱手續ノ概要	七
附 (1) 各廳歳入金取纏局及歳入徴收官配置表	五
(2) 各廳歳出金取纏郵便局表	七
(三) 國庫金業務ニ關スル施設事項	五
(二) 處理事項	五
五、業務發達ノ狀況	三
六、歳入金取扱狀況	六
七、歳出金取扱狀況	四



國庫金業務狀況

沿革



元ト國庫金ハ主トテ金庫ノ取扱ニ係リタルモ金庫ノ數ハ全國ヲ通ジテ僅カニ五百十餘箇所ニ過クメニ租稅其ノ他ノ歲入金納入義務者ハ地方自治團體カ國ノ委託モ依リ徵收スル國稅ヲ當該市區町村ニ納付スル場合ノ外其ノ義務履行ノ爲メニハ多大ノ勞力ト時間トヲ費シテ現金ヲ金庫ニ携行セサルヘカラサルノ不便アリ又市區町村カ其ノ徵收シタル國稅金ヲ金庫ニ送付スルニ方リテモ亦收入役自ラ多額ノ現金ヲ携帶スルヲ要シ多大ノ不便ト危險ノ之ニ伴フモノアリ國庫ヨリ支拂ヲ受クル債權者ニ付テモ亦同様ノ不便ヲ感シタル所ナリ然ルニ我郵便官署ハ全國各地ニ普及シ且現金ノ取扱ニ熟練セルヲ以テ郵便官署ニ於テ國庫金ノ受拂ヲ取扱フニ於テハ國民ニ多大ノ便宜ヲ與フルト同時ニ爲替貯金等ノ受入金ト共ニ之等國庫金ノ運轉敏活ナルヲ得テ國家財政上利スル所尠少ナラス

一方郵便官署ニ於ケル國庫金受拂事務ノ取扱ニ關シテハ埃地利、洪牙利國ニ於テ郵

便振替貯金ニ依リ之ヲ實施セル狀況ニ鑑ミ我國ニ於テモ亦早晚之カ實施ヲ見ルヘキハ明治三十九年三月郵便振替貯金制度開始ノ當時ニ於テ既ニ豫想セル所ニシテ其ノ規則中ニ於テ國庫金受拂ノ爲メニスルモノハ特ニ其ノ受拂料金ヲ免除スルノ條項(現行規則ハ之ヲ削除セリ)ヲ設ケタル亦故ナキニアラス果セル哉振替貯金事務開始後一ヶ月即チ明治三十九年四月大藏省理財局長ヨリ通信局長ニ對シ金庫ヲ振替貯金加入者トシ國庫金ノ收支ニ之ヲ利用スルノ方法ニ關シ來照アリ是ニ於テカ本制度ノ開始ハ愈々具體的ニ調査ノ歩ヲ進ムルコトトナリ同年六月振替貯金ヲ利用スルノ案ヲ具シテ大藏省ニ協議スルトコロアリタリ然ルニ同年六月地方長官會議ノ決議ニ基キ市町村カ其ノ徵收シタル國稅金ヲ國庫ニ又府縣稅金ヲ府縣金庫ニ送納スル場合ニ郵便振替貯金ノ利用方內務大臣ヨリ當省大臣宛照會アリ又明治四十二年五月中央金庫所屬松戶支金庫ヨリ振替貯金ニ加入方希望アリ仍テ大藏省ニ對シ曩ノ協議案實施方ヲ促スト共ニ松戶支金庫ノ希望ニ對スル處置方ヲモ協議スル所アリシカ松戶支金庫ニ對シテハ金庫事務ノ不統一ト監督上ノ支障トノ理由ノ下ニ其ノ振替貯金ノ加入ヲ拒絕シタリ

思フニ一般民人ニ利便ヲ與ヘントセハ須ク歲入徵收官又ハ全國總テノ金庫ヲシテ

振替貯金ノ加入者タラシムルカ然ラスンハ別ニ特殊ノ制度ヲ施設セサルヘカラス是ニ於テ乎明治四十三年初頭先ツ歲入徵收官ヲシテ加入者タラシメ郵便官署ニ於テ國庫金ノ取扱ヲ爲サントシ關係主管省ニ交渉スル所アリタルモ議熟スルニ至ラスシテ其ノ同意ヲ得ス仍テ更ニ特殊ノ方法ヲ施設セントシ大正元年二個ノ考案ヲ提議シタリ之レ振替貯金ニ依ラサル現行國庫金取扱制度ノ濫觴トス

而シテ其ノ第一案ニ於テハ國稅徵收事務ノミヲ取扱フモノニシテ歲出金ノ取扱ニ及ハス其ノ方法トシテ窓口收納方法、居宅集金方法及其ノ折衷方法ノ三案ノ内何レカニ依ラントスルモノニシテ而モ一町村一局配置主義ヲ採リタルモノトス

第二案ニ於テハ金庫事務取扱ニ付テハ地方所在ノ本支金庫ノ大多數ヲ一時ニ廢止シ郵便官署ニ於テハ國稅ノ徵收ハ勿論歲出金支拂及保管、供託ノ事務ヲモ取扱フモノトシ金庫制度ニ一大斧鉞ヲ加フルモトナルヲ以テ是亦關係諸官省ノ協議熟シ難ク遂ニ再考ノ已ムナキニ了レリ

此ニ於テカ大正元年末更ニ郵便振替貯金ノ特別取扱ニ依ラシメントスルノ第三案ヲ起シ關係主管省トノ間ニ交渉ヲ開始セリ本案ハ其ノ所要經費十九萬圓餘ニシテ從來ノ提案中經費比較的少額ナルノミナラス金庫系統ニ何等ノ變動ヲ及ホササル

ヲ以テ各關係主務局トノ商議稍々進ミタルモ大藏省ニ於テハ郵便官署ノ取扱範圍ヲ縮少シ差向租稅其ノ他ノ大藏省所管ノ歳入金ノ受入及金庫所在地以外ニ在ル債主ニ支拂フヘキ歳出金ノ拂渡ノミト爲サントノ希望ナリシヲ以テ更ニ其ノ方法ヲ革メ少額ノ經費ヲ以テ實施シ得ヘキ單行制度ヲ設ケントシ大正二年十一月茲ニ第四回ノ調査ヲ始メ翌大正三年一月ニ至リ案成リ直ニ關係主務局ニ交渉協議スル所アリシカ議漸ク熟スルノ氣運ニ達シ其ノ年三月之カ所要經費ヲ追加豫算トシテ第三十一回帝國議會ニ要求シ其ノ協賛ヲ經テ本制度ノ確立ヲ見翌大正四年三月一日ヨリ實施セラレタルモノトス

續ツテ考フルニ本制度實施ノ範圍ハ單ニ大藏省所管歳入金ノ受入及金庫現行ハ日本銀行所在地外ニ在ル債主ニ支拂フヘキ歳出金ノ拂渡ノミニシテ國庫ノ取扱ニ係ル受拂金ノ全般ニ及ホササルハ聊カ遺憾ナキ能ハサルカ如シト雖是レ財政上其ノ他ノ事情ニ依リ先ツ狭少ナル範圍ニ於テ之ヲ試ミタルモノニシテ將來ニ於テハ其ノ成績ヲ見テ漸次其ノ全般ニ及ホサンコトヲ期シタルモノナリ而シテ大正十一年度ヨリ改正會計法ノ實施ニ際シテモ本業務ノ取扱範圍擴張ノ議アリタルモ實施上困難ノ點アリタルヲ以テ其ノ實現ヲ見ルニ至ラスシテ止メリ

一、取扱ノ範圍

郵便官署ニ於テ取扱ニ係ル國庫金ハ前項記載ノ如ク國庫取扱金ノ全般ニ及ハス主トシテ大藏省所管ノ歳入金及日本銀行(本支店又ハ代理店以下同)所在地外ニ在ル債主ニ支拂ハルヘキ歳出金ニ止ルモノニシテ即チ左ノ各號ニ該當ノモノトス尙特別會計ニ屬スル歳入金ニ對シテハ專賣官署ノ歳入金以外ハ歳入徵收官ニ於テ郵便官署ヲ納付場所ニ指定セサルモノトナスカ故ニ之カ取扱ヲ見サルモノトス

- 一、稅務官署ノ直接徵收スル國稅金
- 二、北海道廳、府縣及稅務官署ノ收納スル國庫ノ諸歳入金
- 三、收入官吏カ日本銀行ニ送付スヘキ前二號ノ歳入金
- 四、專賣官署ノ收入官吏カ日本銀行ニ送付スヘキ煙草專賣ニ關スル歳入金(昭和六年七月以降實施)
- 五、市區町村カ日本銀行ニ送付スヘキ國稅金
- 六、日本銀行所在地外ニ於テ債主ニ支拂ヲ要スル歳出金

右一、二號ノ國稅金及諸歳入金ハ歳入徵收官ニ於テ其ノ納付場所ヲ指定セルモノヲ除キテハ其ノ歳入徵收官ノ在勤廳ト同一ノ道府縣内ニ在ル何レノ郵便局ニ於テモ

之カ取扱ヲ爲スモノニシテ尙其ノ令書ニ指定シタル納期日ヲ經過シタルモノハ之
 カ取扱ヲ爲ササルヲ原則トス
 又第六號ノ歳出金ハ支出官ノ指定シタル郵便局ニ於テ取扱フモノニシテ支出官ノ
 承認ナキ限り拂渡指定局ノ變更ヲ許ササルモノトス又支拂通知書發行ノ日ヨリ六
 十日ヲ超エタルモノハ郵便官署ニ於テ其ノ繰替拂渡案内書ヲ所屬日本銀行ニ返付
 スルヲ以テ之カ再送ヲ受クルニアラサレハ拂渡ヲ爲サス
 尙法令ノ定ムル所ニヨリ小切手國債證券ノ利札宮内省ノ支拂命令保管金引出切符
 及郵便爲替證書ヲ以テ現金ニ代用シテ歳入金ノ納付ニ當ツルコトヲ得ルモノトス

三、取扱手續ノ概要（附 取纏局等配置表）

歳入金ノ取扱ハ前項ニモ記載ノ如ク歳入徴收官ノ在勤廳ト同一道廳府縣内ニ在ル
 何レノ郵便局ニ於テモ之カ受入ヲ取扱フモノニシテ受入郵便局ニ於テハ納入ヨリ
 歳入徴收官ノ發シタル令書ト共ニ現金ヲ受入レ令書ノ一部ハ計算規程ノ定ムル所
 ニヨリ關係證據書トシテ遞信局ヲ經テ貯金局ニ提出スルノ外本制度ノ特長トシテ
 各歳入徴收官所在地ノ集配局ヲ取纏局ニ指定シ受入局ヨリ歳入徴收官ニ送付スヘ
 キ徴收濟通知書ハ必ス此ノ取纏局ヲ經由スヘキモノトス而シテ取纏局ニ於テハ各
 歳入徴收官別ニ前記ノ徴收濟證據書ニ對スル歳入金振替證券（歳入金振替拂込書添
 付）ヲ所轄ノ日本銀行ニ交付スルモノニシテ本證券ハ即チ後日貯金局ヨリ日本銀行
 本店ニ對シ代リ金ヲ交付スヘキ證據タルヘキモノナリ
 歳出金ノ取扱モ亦歳入金ノ取扱ト大同小異ニシテ即チ郵便局ニ於テ日本銀行所在
 地外ノ債主ヨリ歳出金支拂ノ請求ヲ受ケタルトキハ支出官（各省大臣又ハ其ノ委任ヲ受
 其他ノ）ノ發シタル支拂通知書ヲ提出セシメ豫メ日本銀行ヨリ送付ヲ受ケタル歳出
 金繰替拂案内書（支出官ノ振出シタル小切手ニ基キ作製シタルモノ）ト對照シ其ノ拂渡ヲ爲シタル上一方遞信局

經由貯金局ニ其ノ旨報告スルノ外他ノ一方ニ於テ拂渡済ノ證據書(支拂通知書)ハ之ヲ歳出金取扱日本銀行ノ總括店タル同行本店又ハ支店所在地郵便局タル取纏局ニ送付シ該取纏局ニ於テ其ノ拂渡證據書ト引換ニ日本銀行ヨリ振替拂證書ヲ受取ルモノニシテ本證書ハ遞信局ヲ經テ貯金局ニ送付シ後日代リ金受領ノ證據タルモノトス

而シテ昭和七年二月末現在ニ於テ之等歳入金取纏局數ハ三百五十二局歳出金取纏局數ハ十七局ヲ算セリ其ノ歳入金取纏郵便局歳入徴收官及歳出金取纏郵便局日本銀行配置表等ハ左記ノ通りトス(支出官ハ歳出金取纏事務ニ關係)

(1) 各廳歳入金取纏郵便局及歳入徴收官配置表

(昭和五年度取扱金額)

取纏郵便局	取扱金額	歳入徴收官	取纏郵便局	取扱金額
東京府 東京中央	四三、八〇二	神田橋 稅務署	東京中央	八四、七、六〇三
東京府 東京中央	一六	永代橋	日本橋	一、二九、二四八
東京府 東京中央	一六	京橋	京橋	五〇、八、八五二

取纏郵便局	取扱金額	歳入徴收官	取纏郵便局	取扱金額
幸橋 稅務署	一、五七、四七二	小田原 稅務署	幸橋	一、九七、七四
四谷	一、〇〇、一〇三	横須賀	四谷	三三〇、六三二
水道橋	五、四六、八四二	埼玉縣	水道橋	二、二六、八
鹿橋	七、八、三三八	浦和	鹿橋	七、三、三五
東京地方專賣局	一、六二、八五五	浦和	東京地方專賣局	四〇、二、八三
兩國橋 稅務署	三、〇八、六五二	川越	兩國橋	三、二、五二
品川	五、四六、二一八	秩父	品川	二、七、三七
淀橋	一、三三、四七三	熊谷	淀橋	六、二、六〇
板橋	一、六四、四八二	行田	板橋	六、八、四九
龜戸	四、七、八三七	柏壁	龜戸	四、六、二〇
青梅	七、五、六九二	群馬縣	青梅	四、六、二〇
八王子	二、六、二九四	前橋 稅務署	八王子	一、五、五、二六
神奈川縣	六〇、〇八六	高崎 稅務署	神奈川縣	二、五、二六〇
横濱 稅務署	六、七、八三〇	高崎地方專賣局	横濱 稅務署	六〇、三、三
川崎	二、七、六六五	中ノ條 稅務署	川崎	四〇、三、七
藤澤	三、六、〇九	沼田	藤澤	四〇、三、七
大磯	三、六、〇九	沼田	大磯	四〇、三、七

靜岡	下田	藤枝	見付	濱松	沼津	○山梨	山梨	甲府	諏澤	葦崎	都留	○愛知	愛知	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋
稅務署	同	同	同	同	同	縣	縣	稅務署	同	同	同	縣	縣	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
二七〇、七三三	四七、六二二	六三〇、二二二	七〇四、三五九	三〇〇、〇七五	五五四、八四九	七二一〇	三五五、五七七	二九四、六〇八	四〇、一八二	七六、六八七	二七、四六二	四六二	七六、四八五	七六、四八五	七六、四八五	七六、四八五	七六、四八五	七六、四八五	七六、四八五
小牧	一宮	津島	半田	岡崎	田口	豐橋	大濱	三重	津名	桑名	津市	四日市	松坂	山田	上野	尾野	木ノ本	木ノ本	木ノ本
稅務署	同	同	同	同	同	同	同	縣	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一、三三三、九二二	四八、一七二	五九、二六〇	三八、八七〇	一五、八七二	五四、四〇〇	五五九、〇一〇	六五、七二二	五四、六〇〇	一五四、九一八	九〇、〇七二	三三、二五五	一三、六六九	二二、五五二	二二、五五二	二九、六二二	四、九八三	六、二二〇	六、二二〇	六、二二〇

桐生	館林	○千葉	千葉	千葉	佐原	銚子	東金	茂原	北條	木更津	松戸	茨城	水戸	水戸	松原	松原	松原	松原	松原
稅務署	同	縣	縣	同	同	同	同	同	同	同	同	縣	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
四、二八六	五〇、三八九	一七、五三三	一〇二、九五九	一七、三二七	九、四五六	一一、〇六九	一七九、一三二	五、九二九	一八、四三三	四四、七三〇	一四、四七〇	三五、五〇〇	二七、九二二	二七、九二二	二七、九二二	二七、九二二	二七、九二二	二七、九二二	二七、九二二
麻生	龍ヶ崎	土浦	下館	境	太田	栃木	宇都宮	宇都宮	宇都宮	鹿沼	真岡	栃木	足利	太田	太田	太田	太田	太田	太田
稅務署	同	同	同	同	同	縣	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一六四、四三三	二九、二三三	二五、一八六	三、四四六	三、四四六	三、四四六	三、四四六	三、四四六	三、四四六	三、四四六	三、四四六	三、四四六	三、四四六	三、四四六	三、四四六	三、四四六	三、四四六	三、四四六	三、四四六	三、四四六

淀川	玉造	北	南	西	東	大阪地方專賣局	大阪稅務監督局	大阪府	○大阪府	出町	高岡	魚津	富山縣稅務署	富山縣	○富山縣	輪島稅務署
"	"	"	"	"	"	稅務署	同	大阪中央府	大阪府	出町	高岡	魚津	同	富山	輪島	

八七、八三	四九、七三	二四〇、三六二	一七九、九二	二〇四、四四	一七五、六五	四九七	九六、一七	四三、八六	四〇、九九	五、六五	四九、二八	四九、二八	四九、二八	四九、二八	四九、二八	四九、二八
神戶稅務署	兵庫縣	○兵庫縣	峯山	宮津	福知山	園部	伏見	上京	下京	京都府	○京都府	岸和田	住道	富田林	堺	茨木
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

一、五八、三六	一〇、三九	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九
---------	-------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

一三

西筑摩	伊那	上諏訪	上田	岩村田	長野縣稅務署	○長野縣	大垣	郡上	高山	惠那	多治見	關	岐阜縣稅務署	○岐阜縣
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
福島	伊那	上諏訪	上田	岩村田	同	長野縣	大垣	八幡	高山	中津	多治見	關	同	岐阜縣

七二、八八	三九、二八	五〇、七四	四二、八六	二四、〇五	二六、九八	三二、四〇	二七、九〇	二〇、九二	三九、三〇	三五、三六	三二、三六	二二、六六	二二、六六	二二、六六	二二、六六
小松	七尾	金澤稅務署	同	同	石川縣	○石川縣	小濱	敦賀	武生	大野	福井	福井	飯田	中野	大町
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

二、二〇、二二	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九	一、三九、四九
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

一二

廣島地方專賣局	廣島稅務監督局	廣島縣	○廣島縣	高知	安藝	赤岡	中村	須崎	高知	○高知縣	池田	脇田	撫養	那賀	德島	德島地方專賣局
同	同	廣島	廣島	高知	安藝	赤岡	中村	須崎	高知	高知縣	池田	脇田	撫養	富岡	同	德島

廣島	吳	可	吉	西	尾	福	府	三	庄	忠	○廣島縣	烏	倉	米	○廣島縣	廣島
稅務署	部	田	條	道	山	山	中	次	原	海	取	取	吉	子	取	稅務署
廣島	吳	可	吉	西	尾	福	府	三	庄	忠	取	烏	倉	米	取	廣島
廣島	吳	可	吉	西	尾	福	府	三	庄	忠	取	烏	倉	米	取	廣島
四〇四、九七二	五〇四、五九九	四三三、七六六	三三七、二六三	一八八、五九九	四四四、四七八	四二六、三〇九	四六五、〇〇五	二二九、一三三	二五六、三三二	二二五、四九六	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三六二、三三三	三九七、九九九	五九八、三三三	廣島

○滋賀縣	吉野	葛城	奈良	奈良	○奈良縣	和山	洲本	柏原	豐岡	上郡	龍野	姫路	加古川	社古	明石	伊丹	西宮
賀	上	高	同	奈良	奈良	和山	洲本	柏原	豐岡	上郡	龍野	姫路	加古川	社古	明石	伊丹	西宮

德島	新	田	御	湯	粉	和	和	○和歌山縣	長	今	彦	八	水	大	滋
德島	宮	邊	坊	淺	河	歌	歌	和歌山	濱	津	根	幡	口	津	賀
德島	新	田	御	湯	粉	和	和	和歌山	長	今	彦	八	水	同	大
德島	宮	邊	坊	淺	河	和	和	和歌山	濱	津	根	幡	口	津	大
四四八、三	一〇七、八六一	七六、七九九	二八、二三〇	一〇、五五六	六三、二四四	二〇九、六六八	九九、九五	九九、九五	四一九、九五〇	二二、三三〇	五九、八六三	七、二六六	二八、二八一	四九、〇四九	四、二八五

熊本縣 熊本稅務監督局	○熊 宇和島	卯之町	八幡濱	大洲	新居	今治	松山	愛媛縣 媛稅務署	○愛媛 高松	土庄	長尾	九龜	坂出地方專賣局 稅務署
熊本縣	宇和島	卯之町	八幡濱	大洲	西條	今治	松山	媛縣	高松	土庄	長尾	九龜	坂出
	二五,四二〇	四六五,八三三	二四一,四四五	一六二,二六一	二二六,二五〇	八六七,五五五	一五〇,〇五八	七二六,三九九	二〇,一三七	一〇,三三六	一八八,〇〇六	一〇,三三六	一〇,三三六
○福岡縣	嚴原	武生水	福江	平戶	島原	佐世保	長崎縣 長崎稅務署	○長崎 山鹿	天草	人吉	八代	宮地	熊本地方專賣局 稅務署
福岡縣	嚴原	鄉ノ浦	福江	平戶	島原	佐世保	長崎縣	山鹿	本渡	人吉	八代	宮地	熊本
	四三,七七一	二七,四〇一	七〇,一三〇	四九,二九〇	二九四,〇五五	二四二,四七五	一七,八四七	一八〇,九	一五,九一八	三〇,六四九	二七,一一〇	二六,七五〇	七四九,七四六

高梁	玉島	倉敷	味野	瀬戸	岡山	岡山地方專賣局 稅務署	岡山縣 山口	西郷	益田	濱田	川本	大森	今市	大東	松江	島根縣 稅務署
高梁	玉島	倉敷	味野	瀬戸	岡山	山口	山口縣 山口	西郷	益田	濱田	川本	大森	今市	大東	松江	島根縣
	二九二,二五四	八六三,九二五	九四七,九〇四	四九九,二九七	三九六,〇六	一五,〇七一	一一,三三九	五四,八二九	二四〇,九四〇	四八,八三三	二二,〇二四	四三,七五	五〇,六五五	三六,三三五	五五,三三一	二,三五九
香川縣	○香川 高松	厚狹	萩	下關	三田尻	徳山	岩國	山口縣 山口	山口縣 山口	山口縣 山口	山口縣 山口	山口縣 山口	山口縣 山口	山口縣 山口	山口縣 山口	山口縣 山口
香川縣	高松	厚狹	萩	下關	防府	徳山	岩國	山口縣	山口縣	山口縣	山口縣	山口縣	山口縣	山口縣	山口縣	山口縣
	六五〇八	一,三九五,一七	四六,七七八	七〇,九八四	一六,二四九	四八,〇六七	一〇,二一七	四七,七五五	二,〇七六	一八四,八九九	三五,七七一	五九,五七一	三九,二二四	三七,二五二	三三,九五二	一六

十日町 稅務署	柏崎	高田	村上	相川	糸魚川	三條	〇福 島縣	福島	二本松	須賀川	郡山	郡山地方 專賣局	田島 稅務署	若松	坂下	白河	平	三〇、一六一	一八〇、七七八	三〇、一六一
〇山 形縣	山形縣 稅務署	山形	同	同	同	同	〇青 森縣	青森縣 稅務署	久慈	宮古	遠野	盛岡	一	水澤	盛岡	岩手	〇岩 手縣	福島	中	三〇、一六一
弘前 稅務署	弘前	五所河原	野邊地	八戶	〇北 海道	北海道 廳	青森縣	青森縣 稅務署	久慈	宮古	遠野	盛岡	一	水澤	盛岡	岩手	〇岩 手縣	福島	中	三〇、一六一
弘前	弘前	五所河原	野邊地	八戶	〇北 海道	北海道 廳	青森縣	青森縣 稅務署	久慈	宮古	遠野	盛岡	一	水澤	盛岡	岩手	〇岩 手縣	福島	中	三〇、一六一

十日町	柏崎	高田	村上	相川	糸魚川	三條	〇福 島縣	福島	二本松	須賀川	郡山	郡山地方 專賣局	田島 稅務署	若松	坂下	白河	平	三〇、一六一	一八〇、七七八	三〇、一六一
〇山 形縣	山形縣 稅務署	山形	同	同	同	同	〇青 森縣	青森縣 稅務署	久慈	宮古	遠野	盛岡	一	水澤	盛岡	岩手	〇岩 手縣	福島	中	三〇、一六一
弘前 稅務署	弘前	五所河原	野邊地	八戶	〇北 海道	北海道 廳	青森縣	青森縣 稅務署	久慈	宮古	遠野	盛岡	一	水澤	盛岡	岩手	〇岩 手縣	福島	中	三〇、一六一
弘前	弘前	五所河原	野邊地	八戶	〇北 海道	北海道 廳	青森縣	青森縣 稅務署	久慈	宮古	遠野	盛岡	一	水澤	盛岡	岩手	〇岩 手縣	福島	中	三〇、一六一

浦室中雅俱檜函網釧旭札	河蘭別內安山館走路川	浦室中雅俱江兩網釧旭札	河蘭別內安差館走路川	一、二七	一、三三	五、〇四	六、八四	一、五三	七、二九	九、四七	六、〇三	二、四五〇	一、八〇四	五、〇〇八	三、五二〇	四、一三七	三、二七六	八、五〇二	四、〇五九	五、九七二	
浦室中雅俱檜函網釧旭札	河蘭別內安山館走路川	浦室中雅俱江兩網釧旭札	河蘭別內安差館走路川	同	同	同	同	同	同	同	同	同	天	沙	國	根	帶	津	遠	野付牛營林區署	
浦室中雅俱檜函網釧旭札	河蘭別內安山館走路川	浦室中雅俱江兩網釧旭札	河蘭別內安差館走路川	釧路	浦河	室蘭	網走	雅內	留萌	旭川	岩見	俱知	札	天	沙	國	根	帶	津	遠	野付牛
浦室中雅俱檜函網釧旭札	河蘭別內安山館走路川	浦室中雅俱江兩網釧旭札	河蘭別內安差館走路川	同	同	同	同	同	同	同	同	同	天	沙	國	根	帶	津	遠	野付牛	
浦室中雅俱檜函網釧旭札	河蘭別內安山館走路川	浦室中雅俱江兩網釧旭札	河蘭別內安差館走路川	四八〇八	三五八二	三、〇三五	一、六五七	一、七二五	九、六二六	六、八三三	一、七六五	六、四六七	五、三六五	二、五七九	四、三九九	三、〇九二	一、〇七五	四、六三七	一、八七四	一、八〇八	

浦室中雅俱檜函網釧旭札	河蘭別內安山館走路川	浦室中雅俱江兩網釧旭札	河蘭別內安差館走路川	合計(四八)	三、二七	八、九三三	二、九三三	四、九二八	二、三〇五	一、五〇、四、五、二、九一	三、五二
浦室中雅俱檜函網釧旭札	河蘭別內安山館走路川	浦室中雅俱江兩網釧旭札	河蘭別內安差館走路川	合計(四八)	同	同	同	同	同	同	同
浦室中雅俱檜函網釧旭札	河蘭別內安山館走路川	浦室中雅俱江兩網釧旭札	河蘭別內安差館走路川	合計(四八)	同	同	同	同	同	同	同
浦室中雅俱檜函網釧旭札	河蘭別內安山館走路川	浦室中雅俱江兩網釧旭札	河蘭別內安差館走路川	合計(四八)	同	同	同	同	同	同	同
浦室中雅俱檜函網釧旭札	河蘭別內安山館走路川	浦室中雅俱江兩網釧旭札	河蘭別內安差館走路川	合計(四八)	同	同	同	同	同	同	同

備考
地方專賣局ノ下ニ取扱高ノ掲記ナキハ專賣收入金ハ昭和六年七月ヨリ開始セルニ因ル

(2) 各廳歲出金取纏郵便局表

昭和五年度取扱金額

取纏郵便局	取扱金額	取纏郵便局	取扱金額
東 京 府	三三〇、七六二	長 野 縣	九〇、九五七
神 奈 川 縣		福 井 縣	
崎 玉 縣		石 川 縣	三、二八九、五四
群 馬 縣		富 山 縣	
千 葉 縣		大 阪 府	七、九七九、八七九
茨 城 縣		奈 良 縣	
栃 木 縣		和 歌 山 縣	
靜 岡 縣		德 島 縣	
山 梨 縣		高 知 縣	
內 地 以 外 各 地		兵 庫 縣	三、四〇一、三六
愛 知 縣	六、四三七、〇八九	京 都 府	二、一九七、二三
三 重 縣		滋 賀 縣	
岐 阜 縣			

四、國庫金業務ニ關スル施設事項

(一) 改良事項

一、歲出金支拂通知書紛失ノ場合ノ處理方 郵便局ニ於テ歲出金支拂通知書ノ

廣 島 縣	六、二六〇、八四	鹿 兒 島 縣	
愛 媛 縣		沖 繩 縣	
島 根 縣	一、八〇五、三九	新 潟 縣	三、二八七、六二
島 根 縣		福 島 縣	
岡 山 縣	二、六二五、八四二	宮 城 縣	九、六四二、九五
香 川 縣		岩 手 縣	
山 口 縣		山 形 縣	
長 崎 縣		秋 田 縣	四、九三三、六四八
福 岡 縣	七、四三三、六四	青 森 縣	九、七五二、八四二
大 分 縣		北 海 道	一、三〇、二八三
佐 賀 縣		函 館 縣	
熊 本 縣	七、九六三、九九	合 計	一一一、〇二六、七三

債主ニ到着前紛失シタルモノニ對シテハ繰替拂案内書ノ餘白ニ通知書紛失ノ旨ヲ附記シ置キ爾後之カ支拂ニ應セサルコトトシ又債主ヨリ歳出金支拂通知書ニ代ルヘキ證明書ニ依リ拂渡ヲ請求シタル場合ハ債主ヲシテ現金領收ノ手續ヲ爲サシムルコトニ大正四年十月公達第五百六十八號ヲ以テ之ヲ改正セリ然ルニ其後支出官事務規程制定ノ結果歳出金支拂通知書亡失ノ場合ハ總テ支出官ニ於テ其ノ支拂通知書ノ再發行ヲ爲スコト、ナリタルヲ以テ前記證明拂ノ方法ヲ廢シ再發行ニ係ル支拂通知書ニ依リ一般ノ例ニ依リ拂渡スコトニ昭和三年十二月省令第六十四號及公達第千五百五十六號ヲ以テ之ヲ改正セリ

二、受拂事務取扱方法ノ改正 大正四年三月創始ニ係ル本業務ハ其後ノ實況ニ鑑ミ取扱規程ニ改正ヲ加フルノ必要ヲ認メ大正五年三月公達第百八十四號ヲ以テ相當改正ヲ加ヘ同四月一日ヨリ之ヲ實施セリ今其ノ改正要點ヲ擧クレハ左ノ如シ

イ、本規程ニ依リ取扱フヘカラサル歳入金ヲ誤テ受入レタル場合ニ於ケル處理方法ヲ設ケタルコト

ロ、郵便官署ニ於ケル歳出金繰替拂日計表ノ年度別區分ハ其ノ必要ヲ認メサ

ルニ付大藏省及會計検査院ト協議ノ上之ヲ廢止シタルコト

ハ、受入金ノ事故ニ關スル手續ニ付テハ拂渡金ノ事故處理ニ關スル手續ノ準用ヲ認メタルコト

ニ、債主ニ對シ支拂通知書發行後國庫カ第三債務者トシテ差押命令ヲ受ケタル場合郵便官署ノ拂渡手續ヲ設ケタルコト

ホ、其他郵便官署相互間又ハ日本銀行若ハ歳入徴收官等ノ間ニ於ケル事務ノ聯絡其他ニ關シ必要ナル改正ヲ加ヘタルコト

三、證券代納ニ依ル歳入金ノ受入開始 近時ノ金融界ニ於テハ各種證券ノ流通益盛ナリト雖モ國庫ノ收入ニ對シテハ證券ヲ使用スルノ途ナカリシモ大正五年三月法律第十號ヲ以テ其途ヲ開カレ大正六年一月一日ヨリ之カ施行ヲ見タリ之等租税其他ノ歳入納付ニ使用シ得ル證券ノ種類ハ大正五年十二月勅令第二百五十六號ヲ以テ左ノ如ク規定スルト同時ニ主管大臣ハ證券ヲ以テ納付シ得ヘキ歳入ノ種目、證券ノ金額、種類又ハ納付場所ニ依ル制限ヲ加ヘ得ルコトヲモ定メタリ

一、小切手又ハ一覽拂ノ爲替手形ニシテ無記名式又ハ記名持參人拂ノモノ

- 二、無記名國債證券ノ利札ニシテ支拂期ノ制達シタルモノ
- 三、宮内省ノ支拂命令又ハ保管金引出切符(昭和四年二月以降宮内省會計制
度改正ノ結果總テ小切手トナル)ニシテ納入
ノ爲發行シタルモノ
- 四、郵便通常爲替證書ニシテ歳入ヲ納付スヘキ官署、日本銀行、市町村ヲ受取人
トナシタルモノ又ハ郵便小爲替證書ニシテ歳入ヲ納付スヘキ官署、日本銀
行、市町村ヲ受取人ト指定シ若ハ受取人ヲ指定セサルモノ
而シテ同年大藏省令第三十號ヲ以テ歳入ノ納付ニ使用シ得ル證券ノ範圍ニ一
般的制限ヲ規定シタルノ外又大藏省令第三十一號ヲ以テ大藏省主管歳入ニ納
付シ得ル證券ニ對シ更ニ制限ヲ加ヘタリ
- 郵便官署ニ於テ國庫金業務トシテ取扱フ歳入金ハ大藏省主管ノモノナルカ故
ニ今本省令ニ基キテ郵便官署カ受入ルル證券ノ種別ヲ列記スレハ次ノ如シ
- 一、政府ノ振出シタル小切手ハ其ノ振出口附ヨリ一年ヲ經過セサルモノニシ
テ且裏書禁止ノ旨ノ記載ナキモノナルコトヲ要ス
- 二、政府以外ノ者ノ振出シタル小切手ハ納付スヘキ郵便局ノ所在地ノ手形交
換所ニ加入セル銀行ニ宛テタルモノ又ハ其ノ加入セル銀行ノ所在地ニ在
ル同一銀行ノ支店ニ宛テタルモノ

- 三、前記以外ノ證券ハ支拂場所カ納付スヘキ郵便局ノ所在地ニ在ルモノ
- 四、郵便爲替證書ハ納付スヘキ郵便局ヲ拂渡郵便局トシテ指定シタルモノ
朝鮮臺灣等ノ歳出金繰替拂ノ實施 大正六年三月大藏省ノ協議ニ基キ朝鮮、
臺灣、關東州、滿洲、樺太、青島及天津ニ在ル支出官ノ發行シタル支拂通知書ニ依リ
内地郵便局ニ於テ歳出金ノ繰替拂ヲ爲スコトトシ同年五月公達第三百十八號
ヲ以テ各廳歳入金及歳出金取扱規程ノ關係事項ニ改正ヲ加ヘ同六月一日ヨリ
之ヲ實施セリ
- 五、隔地拂突合表ノ證明 計算規程ノ改正ニ伴ヒ取纏郵便局ニ於テハ日本銀行
ヨリ呈示ニ係ル隔地拂突合表ニ相當證明ヲ爲スノ必要ヲ生シ大正十五年五月
公達第四百十二號ヲ以テ取扱規程ヲ改正同月十九日ヨリ實施セリ
- 六、取纏郵便局等ノ改正 日本銀行國庫金取扱規程改正ノ結果大正十五年四月
十五日ヨリ各廳歳入金取纏郵便局及歳入徵收官配置表並ニ各廳歳出金取纏郵
便局及日本銀行配置表ノ全部改正ヲ行ヘリ今之カ改正ノ要點ヲ舉クレハ左ノ
如シ
- (一) 各廳歳入金取纏郵便局及歳入徵收官配置表ニ於テ拂込銀行中日本銀行代

理店ヲ全部削除シ日本銀行本支店ニ局限シタル爲從來ノ拂込店三十三箇
店ヲ十六箇店ニ減縮シタルコト

七、

(二) 各廳歳出金取纏郵便局及日本銀行配置表ニ於テ代リ金請求銀行ヲ日本銀
行本支店ニ又取纏郵便局ノ設置ヲ當該銀行ノ本支店所在地ニ局限シタル
爲從來ノ取纏局數百二十五箇局ナリシヲ十五箇局ニ減シタルコト

取扱規程中一部改正 關係法令ノ改正等ニ伴ヒ規程改正ノ必要ヲ認メ大正
十五年九月公達第六百九十五號ヲ以テ左ノ通り取扱規程ニ改正ヲ加ヘ同月十
七日ヨリ實施セリ

(一) 市町村ニ於テ徵收スヘキ國稅ニ關スル勅令改正ニ伴ヒ取扱規程中ノ稅種
目ヲ變更シタルコト

(二) 歳入納付ニ使用スル證券ニ關スル勅令改正ニ伴ヒ國債證券ノ利札ニ依ル
歳入納付ニ對シ資本利子稅ノ控除方法等ヲ規定セルコト

(三) 郵便局ノ事務簡捷ヲ期スル爲拂濟歳出金支拂通知書ノ區分ヲ從來案内書
ヲ發行シタル日本銀行別トセルヲ代リ金ノ請求ヲ爲スヘキ取纏郵便局別
ニ改メタルコト

八、

他官省歳入金臨時扱

(一) 鹿兒島縣下ニ於ケル臨時扱 昭和二年四月我財界ニ未曾有ノ恐慌突發
シ十五銀行ノ休業スルニ及ヒ同行カ日本銀行代理店タル關係上鹿兒島縣
下ニ於ケル國庫金取扱ニ多大ノ支障ヲ見ルニ至リタルカ爲メ大體左ノ要
領ニ依リ同縣下ノ一般歳入金ヲ特定ノ郵便局(川内、知覽、指宿、出水、伊集院、市
來湊、大口、北種子、加治木、國分、鹿屋、垂水、岩川ノ各局)ニ於テ同年五月以降臨時
ニ取扱フコトトシ大藏遞信省令及遞信省告示ヲ以テ關係規定ヲ公布實施
セリ而シテ昭和五年六月一日ヨリ日本銀行代理店再開セララルニ及ヒ右
特別取扱ハ之ヲ廢止セラレタリ、

- 一、大藏省所管ノモノニ限ラス各省何レノ所管タルヲ問ハス
- 二、出納官吏ヨリ歳入金拂込ノ場合ニ限ル
- 三、取纏局ヲ熊本局トシ郵便局ニ於テハ徵收官別、所屬年度別ノ區分ヲ
爲サス

今本臨時扱中ノ取扱狀況ヲ示セハ次ノ如シ

白昭和三年五月 臨時國庫金受入事務取扱狀況
至同 五年五月

年	度	口	數	金	額	全上	一	ケ	月	平均
						口	數	金	額	

昭和二年度 (五月ヨリ)	一、二五三	四〇七、四八四 ^四	二四	四七、〇四四 ^四
同 三年度	一、四三三	四九六、一八五	二八	四一、三〇八
同 四年度	一、四四二	六六九、九三九	二〇	五五、八二八
同 五年度 (迄)	二、五九	一三三、二三八	一三〇	五、六〇九

(二)

青森縣下ニ於ケル取扱 昭和六年秋ニ於ケル青森縣下ノ饑饉ハ金融界ニモ多大ノ影響ヲ及ホシ終ニ第五十九銀行ハ全年十一月休業スルニ至リ同行ハ日本銀行代理店タル關係上青森縣下ニ於ケル國庫金取扱ニ多大ノ支障ヲ見ルニ至レルヲ以テ先年鹿兒島縣ニ實施セルト同様ノ方法ヲ以テ一般歳入金ノ臨時取扱ヲ爲スコトシ全年十二月以降實施セリ而シテ其ノ取扱局ハ七戸、八戸、鱒ヶ澤、大湊、五所ヶ原、黒石ノ各郵便局ニシテ其ノ取扱局トセルカ之等各局ノ昭和六年十二月中ニ於ケル取扱高ハ三百三十四口金額八萬一千四百七十圓ニ及ヘリ

九、專賣官署ノ收入金取扱 專賣官署ニ於ケル煙草賣上代金ハ從來元賣捌人ノ手ヲ經テ之ヲ徵收シ來リタルモ昭和六年七月以降此ノ元賣捌ノ制度廢止ニ伴

ヒ小賣人ニ賣渡シタル煙草ノ代金ハ收入官吏ヲシテ取纏メシメタル上日本銀行本支店又ハ代理店所在地ノモノハ直接同行ニ拂込ミ其ノ他ノモノハ郵便官署ノ國庫金取扱方法ニ依リ拂込マントシ之カ取扱方專賣局及大藏省ヨリ協議アリ依ツテ同年六月省令第十六號及公達第五百十號ヲ以テ關係規定ヲ改正シ同七月一日ヨリ之ヲ實施セリ、今取扱開始以降各月ノ取扱狀況ヲ示セハ左ノ如シ

煙草專賣收入金各月受入狀況

月別	口數	金額	一口當平均額	豫定一口當金額 (七七三圓)ニ比シ
六年七月	六、九八	四、三六四、三六七 ^四	六二七 ^四	▲一四五 ^四
八月	七、〇八〇	四、七九六、〇〇四	六七三	▲一〇〇
九月	六、八三三	四、六一五、一六五	六九五	▲九七
十月	七、〇六四	四、八七九、九一四	六九二	▲八一
十一月	六、六五五	四、六四六、五二二	六九八	▲七四
十二月	六、七二二	四、七〇三、三九五	六九三	▲七九
七年一月	六、八八八	五、三六五、五二二	七六八	▲五

(二) 處理事項

一、大藏省協定事項中改正 大正四年六月彙ニ協定セル協定事項中ノ歳入ニ關スル事項中協定變更方ニ關シ大藏省ヨリ交渉アリ種々研究ノ結果左ノ事項ニ變更ヲ加ヘタリ

イ、歳入金ニ關シテハ分掌官ハ歳入徴收官ト同様ノ取扱ヲ爲スヘキモノナルモ協定面ニ於テハ一々分掌官ノ文字ヲ併記セサルカ爲メ誤解ヲ來ス虞アルヲ以テ協定文面ニ分掌官ノ表示ヲ必要トスル個所ニ對シテハ一々徴收官ト併記スルコトトセリ

ロ、歳入徴收官及其ノ分掌官ハ納稅告知書又ハ納入告知書ニ左ノ區別ニ依リ金庫ヲ指定シ得ルコトトセリ(但シ本項ハ金庫制度廢止ト同時ニ適用トナレリ)

(1) 金額百圓以上ナルトキハ金庫ノ出納區域ニ關セス何レノ金庫ヲモ指定シ得ルコト

(2) 金額百圓未滿ナルトキハ歳入徴收官在勤所在地ノ道廳府縣管内ニ在ル金庫ニ限り指定シ得ルコト

二、歳出金ノ拂渡ニ證明書添付方 國庫金ノ拂渡ニ付テハ爲替貯金ノ拂渡ト其ノ性質ヲ異ニシ成規ノ手續ヲ經タルノ故ヲ以テ正當ノ拂渡トナスヲ許ササルモノアルニ付當該局ノ認定ノミヲ以テ正當權利者ニ支拂タルノ證明トハ斷シ難ク勢ヒ相當ノ證明材料ヲ提供セシムルハ已ムヲ得サル義ニ付町村收入役ノ代理者ニ拂渡ノ際郡長ノ認可書ノ寫、寺院ニ拂渡ノ際住職ノ辭令書寫又ハ管長ノ證明書ノ添付方ヲ日本銀行ヨリ請求アリタルトキハ之ニ應スルコトトシ大正十年十一月ヨリ之ヲ實行セリ



五、業務發達ノ狀況

本業務開始以來ノ取扱數ヲ示セハ左表ノ通りニシテ歳出金ニ在リテハ其ノ取扱口數ハ大正四年度ニ於テ既ニ開始當時ノ豫定數ノ約三十五割大正十年度ニ於テ約六十割ノ取扱ヲ見タリト雖歳入金ニ在リテハ其ノ取扱數豫定ニ達セス大正四年度ニ於テ僅カニ其ノ約一割九分大正十年度ニ於テ約二割九分ノ取扱ニ過キスト雖逐年増加ノ趨勢ニアリ
今累年ノ取扱狀況ヲ見ルニ左表ノ如ク大勢ニ於テ大體其ノ取扱ノ増進ヲ示スニ至レリ

各廳歳入金累年取扱狀況

年度別	種別	口		備考
		數	額	
大正三年度		二七九,三五三	五,六二五,九三二	大正三年度ハ三月一ヶ月ノ取扱トス尙口數ハ不明ニ付掲載セズ △印ハ減少トス
同 四年度		三〇八,八三一	六,四三三,三三二	
同 五年度		三六,二四四	七,一〇一,八六二	
同 六年度		三三,四九七	八九,六三六,七六六	
同 七年度		三七,九八八	二一,七二五,九五〇	
同 八年度		四四,三三三	一五,八六八,二二五	
同 九年度		五四,八七九	一四〇,二五六,七五五	
同 十年度		四六,八〇〇	一四九,六〇六,七六六	
同 十一年度		四〇,七二五	一六七,六八二,六五五	
同 十二年度		三九〇,九七六	一五二,三四五,四五五	
同 十三年度		三八九,九一三	一五,八三五,六九五	
同 十四年度		三五,七四三	一四九,一七一,〇五二	
昭和元年度		三六,七九五	一四三,一六〇,一八八	
同 二年度		四〇,八五一	一四,七七七,三三三	
同 三年度		三九七,六二〇	一四,五九五,五三二	
同 四年度		三八一,三九二	一六,八五四,三八八	
同 五年度			一四,七七一,八八九	

各廳歳出金累年取扱狀況

年度別	種別	口		備考
		數	額	
大正三年度		三〇七,二三三	一一,五三三,七四三	大正三年度ハ三月中旬一ヶ月ノ取扱トス尙口數ハ不明ニ付掲載セズ △印ハ減少トス
同 四年度		三三三,五二九	一二,六八七,三五〇	
同 五年度		四三,二二六	一四,五九九,七四四	
同 六年度		五七,〇四三	二五,一五五,二二七	
同 七年度		六八,七五一	四三,一一〇,五四〇	
同 八年度		五九,四九〇	四〇,六九二,五七一	
同 九年度		五九,七五五	四四,三三三,七一九	
同 十年度		六二,二七八	四八,二四四,〇五三	
同 十一年度		五八,〇六五	六五,〇七一,〇三八	
同 十二年度		六六,九九九	六八,〇二七,四三九	
同 十三年度		六四,六五二	六六,二二七,四二〇	
昭和元年度		六四,六七四	八七,四一六,三二二	
同 二年度		一〇七,五四五	一六,三三六,五七五	
同 三年度		一〇四,九一六	一六,七五八,八五九	
同 四年度		一〇五,〇二三	一七,八七七,三六一	
同 五年度		一〇六,一〇〇	一三,〇一八,三九七	

六、歳入金取扱状況

尙更ニ進シテ歳入金ノ昭和五年度中ニ於ケル各月ノ取扱状況ヲ見ルニ口數ニ於テハ十二月ヲ最高トシ四月十月之ニ次キ金額ニ於テハ三月ヲ最高トシ二月四月十月等之ニ次ク其ノ各月ノ取扱状況ハ左表ノ如シ

昭和五年度各廳歳入金各月取扱状況

月次	種別	口數	金額	百分比	
				口數	金額
昭和五年	四月	四,五〇一	一七,五五,六五〇	二	三
	五月	一六,〇八六	四,四六〇,七四二	四	三
	六月	二〇,八八八	七,六七,九二二	五	五
	七月	二〇,五〇五	三,八四四,六三三	八	九
	八月	三〇,四八八	一〇,六九八,八七七	九	八
	九月	三三,五〇〇	七,二二一,九三三	一〇	五
	十月	三六,五九三	一五,四〇一,九六九	一〇	八
	十一月	二九,二〇四	八,六〇〇,二一九	八	五
	十二月	五九,〇九六	二〇,一九九,一三三	一五	七
計				一〇〇	一〇〇

昭和六年		口數	金額	百分比	
一	二			口數	金額
一月	二月	二六,九四	八,九六,二六八	七	六
三月	計	三四,〇七	二〇,二九,〇五八	九	四
		三三,五五〇	二,九四二,五五六	九	一
合		三三一,三九二	一四,六二,八九九	一〇〇	一〇〇

而シテ郵便官署ニ於テ受入レタル之等歳入金ノ各税種目別取扱高ニ關シ管テ大正十年度中ノ計數ニ依リ調査シタル所ニ依レハ左ノ如クニシテ最も取扱ノ多キモノハ第一種所得税外十四種目ノ直接税務官署ノ徴收スルモノニシテ其口數一萬九千口金額八千四百七十八萬圓ニシテ之レニ次クモノハ地租外四種目ノ市町村ヨリ送納ニ係ル租税ニシテ口數十四萬口金額五千八百五十一萬圓ニシテ次ニ收入官吏ヨリ日本銀行ニ現金ヲ送付スル場合ニ郵便局ヲ利用シタル一萬四千口金額二百七十一萬圓最後ニ雑收入八萬口金額三百九十七萬圓ノ順ニシテ尙進シテ各税目ニ就テ見ルトキハ最も取扱口數ノ多キモノハ相續税ニシテ雑收入、地租、織物消費税、第三種所得税、營業税等之ニ次キ金額ニ於テハ酒造税、地租、第一種所得税、第三種所得税、織物消費税等ノ順トナレリ

大正十年度取扱歳入金各税種別取扱数

(本表ノ取扱数ハ貯金局取扱ノ月日ニ依リテ區切リタルモノニ付郵便局取扱日ニ依レル別表ノ計數ト多少ノ相違アリ)

税種別	口數	金額	總數ニ對スル割合	
			口數	金額
第一種所得税	一四、二四〇	一八、三六、六六	〇、三四	一、二二
相續區税	八五、四七七	五、五九、七〇〇	二、〇三	〇、三七
鑛區產税	三、七七八	一、六三、七四五	〇、三〇	〇、一一
鑛區税	六三三	一、八九、一八五	〇、〇一	〇、一三
砂鑛區税	二四五	一五、〇〇〇	〇、〇一	〇、一四
酒造税	一九、二七二	三六、六五、一九〇	〇、四六	二、四四
麥酒及酒精税	六	七七、二六六	〇、〇一	〇、〇二
含有酒精飲料酒税	五七九	四九、〇二二	〇、〇一	〇、〇三
醬酒造石料税	二、八九七	二、六四、三七八	〇、〇二	〇、一八
砂糖消費税	四、一四三	三、七九、一三七	〇、〇一	〇、二五
織物消費税	四〇、四九九	二、九七、五四六	〇、〇九	〇、八七
石油消費税	三六八	九七、七七七	〇、〇一	〇、〇二

取引所税	登録税	戰時利得税	小計	地租	第三種所得税	營業業税	家用醬油税	賣藥營業税	小計	雜收入	合計	前年ニ比シ増減(△印)減	
													市町村カ日本銀行ニ送付スル税金
三三四	二九〇	二二二	一九〇、九〇六	六二、四六七	三三、二八四	二〇、五五三	一四、七三三	五、九七七	三三、〇〇四	一四、三五三	七九、二七七	四二、五四〇	一〇、四二二
三三九	六八、四二二	八四、七八三、四七二	二九、一八九、八九六	一六、九九八、七九六	一一、七八、二四七	四六、一八九二	一三五、一五二	五八、五三、九八四	二七、一、五二八	三、九六九、九四九	一四九、九七八、九三三	〇、〇一	
四、五三	一、四八	〇、七九	〇、四九	〇、三五	〇、二四	三、二五	〇、三四	一、八八	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇	〇、〇四	
五、六六	一、九五	一、二二	〇、七六	〇、〇三	〇、〇二	三、九〇	〇、二八	〇、二六	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇	〇、〇二	

而シテ次ニ昭和五年度中ニ於ケル各府縣別ノ取扱數ヲ舉クレハ次表ノ如シ

昭和五年度各廳歳入金府縣別受入高表

監督局	廳府縣名	口數	金額	前年ニ比シ増減(△印)減	
				口數	金額

大 阪					名 古 屋				
岡 香	高 德	和 奈	兵 滋	京 大	富 石	福 長	岐 愛	三	
計	歌			計					
山 川	知 島	山 良	庫 賀	都 阪	山 川	井 野	阜 知	重	

一〇,三九八	七九,六四六	四,一五八	二,五七三	七,五四六	五,一五六	一一,九五五	五,七八五	一三,六二六	二八,八五七	六四,一一一	六,四五六	三,五三九	七,三五五	七,二二八	二五,九四三	七,一七六
四,五三三,〇八七	一,四〇二,九四九	三五,三八六,〇〇〇	一,八二九,三五二	七三九,二五三	一,一五八,三六四	二,五五一,三五二	六,九六一,八七七	二,六七五,九五二	七,九八八,五五〇	一一,四八一,三〇一	一六,六七二,五九九	二,七七二,九三三	二,二七〇,五四八	一,七四一,〇〇〇	四,五四八,一九五	一,八七七,七三二
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
三,四四	二,七六	一六,七三三	一三八	二二六	二二九	六〇	四,二二二	六九一	一,二七七	一〇,四六八	二,一九三	一〇二	一四四	一四四	三,二〇五	五,一九
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
八四八,六五三	二六,三三二	二二三,四一三	二四五,九二七	三九,六七四	一〇二,八六〇	五二九,六六九	七九,一九七	一七八,〇六二	二三八,五六四	一,三五七,三〇〇	三六三,九五二	一八,五〇〇	六五,〇〇〇	四三,九二〇	一九一,八四二	二〇,六七九

四三

仙 臺					東 京				
秋 山	青 岩	福 宮	新	山 靜	栃 茨	千 群	埼 神	東	
計				計			奈		
田 形	森 手	島 城	潟	梨 岡	木 城	葉 馬	玉 川	京	

三六,六二四	四,二八九	四,五五八	四,一八九	四,八二三	四,九七二	四,一八四	九,六七九	七,三三三	五,〇二五	八,九三三	一,七〇九	六,二九二	四,一九五	三,三二二	七,一八三	六,五七〇	二八,二二六	
二,八五四,九四四	一,五三五,一五一	二,六三二,〇九五	九〇,一〇九	九七,六五四	一,二二三,一六九	一,二九二,三五四	四,三〇〇,五二二	四,四八五,一四〇	一,三六六,八一〇	二,三八七,一六四	四七五,五九四	二,〇一七,七八〇	八五二,一三三	一,八六六,八六五	一,五五四,六四	一,七六七,〇七九	三,二〇七,一〇一	
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
一,五七〇	一,二六	五	三八五	六二	二五七	六四	四九七	一,六二二	一一八	一〇二	一六	二三四	六〇三	五四五	九八八	九六	一,六五五	
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
一,六二六,五四八	四四,二四二	三八九,五六六	一八六,〇〇六	八五,〇三二	一七四,八八四	一四四,五六五	二二二,三三四	五,八〇七,六七六	三二〇,三六三	三九一,四三二	三三,三〇九	二九五,三〇〇	二七六,九三二	一八七,三二四	一〇一,四二〇	一一八,一九一	四,〇九四,四三六	

四二

廣島		熊本					札幌								
島根	島	媛	本	分	賀	崎	鹿兒	沖繩	北海	計					
四,〇〇二	八,三〇五	一三,二九八	五,八八〇	五七,〇八三	一〇,七三三	五,八四五	一三,二六六	三,四七一	四,〇〇一	三,一四三	九,七九四	一,二六三	五,五〇六	二,〇九九	三,一三九
一,五八七・七一九	二,七六〇・二八	三,六五五・四三三	四,五七三・二〇二	二,五三二・二七九	二〇,九六五・七九九	二,一八六・三八八	一,二九五・二九三	三,二九三・三七五	九七七・八二〇	一〇,一五二	三,五〇四・五八九	一五八・三三八	一三,四四五・六三三	二,九九二・七五四	一四六・七六・八五九
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
五	四七	二五五	九二九	一七	一,五九九	五九四	四七	三三七	二七	二二八	四,六二四	一九二	二,五八七	四八五	一六,三二八
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
一七八,八四二	三,四一,四四	七〇五,四八三	二四九,三二八	六四九,五九九	二,九六,一五〇	一四七,三三三	一四七,九二六	二二,二二二	一〇三,八五八	三五,一九六	七四,五五七	一一,五九二	二,八三,〇八八	一,二五,四四	一六,〇七,五九九

四四

七、歳出金取扱状況

昭和五年度中ニ於ケル歳出金ノ各月取扱状況ヲ見ルニ口數ニ於テハ四月ヲ最多トシ十二月三月及十月之ニ次キ金額ニ於テハ十二月ヲ最高トシ二月四月十一月等之ニ次ク其ノ取扱状況次表ノ如シ

昭和五年度各廳歳出金各月取扱状況

昭和五年度 四五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月	昭和六年度 一月	月次種別		口數	金額	百分比例	
		口數	金額			口數	金額
二二,〇九五	二二,〇九五	二二	一〇	二	一〇	二	一〇
九〇,八九一	九〇,八九一	九	四	九	四	九	四
六,三九〇	六,三九〇	七	五	七	五	七	五
七,九三六	七,九三六	八	八	八	八	八	八
六,六三二	六,六三二	七	七	七	七	七	七
三,六〇九	三,六〇九	九	六	九	六	九	六
一〇,三五六	一〇,三五六	九	四	九	四	九	四
七,七三四	七,七三四	七	七	七	七	七	七
二七,七四七	二七,七四七	一	八	一	八	一	八
五八,〇八八	五八,〇八八	一	三	一	三	一	三

四五

二 月	七,四七五	一八三八,六六六	四六
三 月	一〇,一四八	九,八四七,三九九	一〇
計	一,〇六五,一〇〇	一三,〇二八,三九七	一〇〇

尙昭和五年度中ノ取扱高ヲ各府縣別ニ示セハ次表ノ如シ

昭和五年度各廳歳出金府縣別取扱高表

監督局	廳府縣名	口數	金額	前年ニ比シ増減(△印)減	
				口數	金額
東京	東京	六九,八五三	八,三八七,七三〇	△	二七五,二四四
	神奈川	一五,八四五	二,一〇二,二六三	△	二二,一六九
	埼玉	三三,四二五	二,六三九,四〇六	△	四七,九五四
	群馬	一〇,九一九	一,五七〇,八六一	△	一四五,六三七
	千葉	二二,八六一	三,五六三,九五二	五	七,八二四
	茨城	一八,六九七	二,五六二,二九〇	四	三六,九〇二
	栃木	二二,七六四	一,七九五,一三三	△	一九,四三三
	靜岡	二六,二九九	三,二一〇,四四四	五,三八	二九九,二五九
	山梨	九,一三三	一,二二〇,四九一	五〇八	五,八三七
	計	二〇七,七八五	二六,八九三,五五一	七〇二	二二,〇五〇

仙臺		名古屋		
廳府縣名	口數	金額	前年ニ比シ増減(△印)減	
宮城	二二,六三三	三,四二五,四五五	△	一,二六八
福島	一六,五二二	二,六三八,五三五	△	一一九
岩手	二四,三二二	四,六〇一,〇〇三	△	七
青森	一三,三三九	一,八六一,三八〇	二,五三	二九,七七七
山形	一五,〇三三	三,六三三,六七四	一,一三八	三八四,一四〇
秋田	一六,三三六	一,八四一,〇六七	六〇	九七,〇三九
計	一五,二〇八	一,九七一,六四八	一,四三〇	二九,二七六
三重	二二,九九〇	一,九九七,七五二	二,六六五	一,八九,四八八
愛知	一四,七四一	一,五三四,三九三	一,〇四一	一一,七五〇
岐阜	三三,六七一	二,八五〇,三六八	六,〇〇四	一七,四二四
長野	二二,〇〇一	二,一七〇,五六〇	三,五九九	二五,五九〇
福井	五二,四八四	一,四九四,四五六	三,五八〇	一一六,九七五
石川	一四,二二六	一,二〇四,九九九	八二九	一五四,二〇〇
富山	二二,四五四	一,四一〇,八四四	八二九	一三二,八八八
計	一四,〇一七	一,五四七,一四六	九八九	一七五,四八九
大阪	一六,五八四	三,二二二,六五六	六,八二二	一,〇一七,一五六
京都	二九,三三六	一,八六九,三三三	三,八八二	八〇,四一七
滋賀	一一,七七〇	一,四八六,七〇二	四八	一〇七,六五二
計	一三,八九五	一,二〇六,四一九	三六	一八二,九九一

熊	廣				大													
本	島				阪													
佐賀	大分	福岡	長崎	熊本	愛媛	山口	廣島	島根	岡山	香川	高知	徳島	和歌山	奈良	兵庫			
賀	分	岡	崎	本	媛	口	島	根	取	山	川	知	島	山	良			
一五、六七〇	一四、八四〇	五一、九七六	三四、四七五	一九、七七五	二五、〇三二	一七、九九二	二二、二八〇	二四、三五二	一四、二二七	八八一	二四、二六九	二二、六三三	一四、二五八	一八、三三三	一三、三三八	一三、九二〇	七、五六三	三四、五三三
一、三七〇、七九六	一、四九四、〇九九	二、〇九八、六九二	二、〇〇一、〇七六	二、四七四、八二六	三、六六六、五〇七	二、〇七八、四五四	三、〇四一、四七三	二、六〇七、一七五	一、四四一、七四九	九九八、五九二	二、二九〇、七五七	一、三〇八、三〇七	一、四一四、〇七八	一、六八一、八〇四	一、四九七、三七三	一、三九〇、六五七	一、一三七、七五四	三、九一〇、〇四七
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
一、二七九	九〇二	一一、九六九	六九九	一、〇七五	三、八三八	五	一、四九九	七九二	九六	一七六	二、三八六	一、〇三二	八、四〇四	九六七	二〇七	八三三	一九〇	二、二六一
一七五、二六七	四三、九五二	三、八一五	一四八、四六六	二四八、四六六	一、〇三〇、五七八	二四七、〇二七	二四、〇〇〇	一八一、三三七	一五、三八二	五、七五九	三五、七七八	一〇八、一六七	一、三四、七七八	一、四四、四〇二	一一、二二三	八九、二九九	一六四、八六三	六〇三、八三六

札	幌			
合	北	沖	鹿	宮
計	海	計	兒	崎
計	道	道	繩	島
一、〇六五、一〇〇	二、〇〇四二	一八三、二二九	四、八六八	二九、五八二
一一三、〇一八、三九七	一〇、八六七、〇〇六	一五、二六五、八四七	四、五七、〇三三	四、二〇、九〇九
△	△	△	△	△
一四、八八七	九、五五六	一七、〇六九	六二	五、五九〇
△	△	△	△	△
四、八〇八、九六四	三〇、四〇五	一〇、五四一、四一九	三三、七六四	一一、五四七、九九〇

昭和七年五月四日印
昭和七年五月七日發行

發行
者者

貯

金

局

部 部
麻 麻
子 子
平 平
五 五
民 民
四 四
日 日
明 明
風 風

發 明
計 師
各 各
額
金
鼠

579
88

